

クマ、シカ、カモシカは茨城県にいるの？ — 変わりゆく野生動物の分布 —



つい最近まで、茨城県は全国的にも珍しい
クマやシカ、カモシカはいない県と考えられてきました。
しかし、過去には分布していた記録があったり、
近年は再び目撃情報が入り始めたりと、
野生動物の分布は人との関わり合いのなかで常に変化しています。
日本の哺乳類学をリードされてきた三浦慎悟先生を迎えて
長期的な視点で日本人と哺乳類の関係性の歴史を紐解くとともに、
近年の茨城県の哺乳類の現状や外来種の侵入状況などについて紹介します。



■ 基調講演 シカ・ウマ・日本人 — 列島の環境史と動物 —



日本哺乳類学会元会長。
著書:『ワイルドライフ・マ
ネジメント入門』(岩波書
店)、『動物と人間』(東京
大学出版会)など多数。

三浦 慎悟 (自然環境研究センター理事長、早稲田大学名誉教授)

■ 講演1 茨城県の哺乳類事情—クマ、カモシカから新たな脅威 特定外来生物キョンまで

後藤 優介 (茨城県自然博物館)

■ 講演2 DNA解析で迫る！茨城のシカはどこからやってきた？

永田 純子 (森林総合研究所)

■ 講演3 あなたのすぐお隣にも！アライグマやハクビシンとのおつきあい

小坂井 千夏 (農業・食品産業技術総合研究機構)



日時:2024年11月16日(土) 13時30分~16時10分
場所:ミュージアムパーク茨城県自然博物館(茨城県坂東市大崎700)

対象 小学4年生以上
定員 180名【事前申込み・先着順】
申込 茨城県自然博物館ホームページより
<https://www.nat.museum.ibk.ed.jp/eventpage/7482>



※本イベントは茨城県自然博物館開館30周年記念イベント・自然ラボ(講座)として開催されます。
※博物館の入館料(一般850円、満70歳以上420円、高校生520円、小中学生170円)が必要



茨城県自然博物館は開館30周年！！
記念企画展開催中(2024 11/2~2025 6/1)



主催 : 茨城県自然博物館・森林野生動物研究会
後援 : (国研)森林研究・整備機構 森林総合研究所

